

# 半落ち

観賞日 2022年3月14日

## 【概要】

制作 2004年 上映時間 121分  
監督 佐々部清  
原作 横山秀夫  
脚本 田部俊行、佐々部清  
音楽 寺島民哉  
撮影 長沼六郎  
出演 寺尾聰（梶聡一郎）、柴田恭兵（志木和正）、原田美枝子（梶啓子）  
伊原剛志（佐瀬銈男）、鶴田真由（中尾洋子）、国村隼（植村学）  
吉岡秀隆（藤林圭吾）、笹野高史（古賀誠司）、樹木希林（島村康子）



## 【あらすじ】

県警教養課警部の梶聡一郎 49歳が自首してきた。梶は誠実な人柄で皆から敬愛されている人物である。その梶が若年性アルツハイマー病の妻を殺したという。問題は殺人を犯した日以降出頭するまでの2日間について梶が黙秘しているということであった。いわゆる「半落ち」状態である。梶の取り調べを任されたのは県警のエース志木和正 48歳。空白の2日間をめぐる、梶 VS 組織上層部 VS 組織前線の三つ巴の暗闘が開始される。梶が新宿歌舞伎町に行ったという噂。黙秘を続ける梶は「あなたには守りたい人がいませんか」と問いかける。何故、梶はそこまで黙秘を続けるのか？ 梶は一体何を守ろうとしているのか？ 警察官でありながら殺人まで犯した梶が何故まだ生きようとしたのか？

原作者が得意とする「組織 VS 個人」をテーマの軸に据え、現代的課題である「アルツハイマー病の介護」「ドナー登録制度」を絡めた意欲作の映画化。

日本アカデミー賞作品賞受賞作。重いテーマ。当代の芸達者達が繰り広げる感動の2時間。

## 【解説】

### ■ポイント

- 犯罪行為から刑務所までの流れがわかりやすく描かれている。
- 50歳という年齢  
50歳は自分自身の生涯が見えてくる年頃。ドナー登録制度の年齢制限も50歳まで。
- 受賞（2005年第28回日本アカデミー賞）  
11部門にノミネートされ下記2部門で受賞  
最優秀作品賞、最優秀主演男優賞（寺尾聰）

### ■見どころ

- ①自己の信念を貫く人 VS ②組織防衛に走る人 VS ③その狭間で苦闘する人
  - ① 梶警部
  - ② 警察・検察・裁判所上層部
  - ③ 志木警部・佐瀬検事・中尾洋子
- 語られない真実もある  
梶警部の言葉「知りません！」は、名作「砂の器」の加藤嘉の名台詞「知らない！」を彷彿させる感動シーン
- あなたは登場人物の誰に最も感情移入できましたか？